

令和7年度（2025年度）熊本市消費者安全確保地域協議会 議事録要旨

1 日 時： 令和8年（2026年）1月20日（火曜日） 18：05～18：30

2 会 場： 熊本県医師会館 2階大ホール

3 出席委員（敬称略）：

西森 利樹、玉野井 優水、宮崎 隆一、大塚 昭彦、池田 一之、
大道 友美、豊田 裕輝子、竹内 久美、内田 正剛、池田 健吾、
窪田 寛史、石本 淳也、高田 穰、宮崎 千恵、永廣 研二、
松永 佳子、金澤 知徳、米森 裕一、村山 寛、福永 千鶴子、
西島 喜義、田辺 正信、村田 礼子、巻 章子、黒木 邦弘、
田嶋 哲、林 茂、戸渡 洋子、磯野 公俊、松井 雄平

欠席委員（敬称略）：

宮内 大介、豊田 徳明

事務局： 堀生活安全課長、羽矢消費者センター所長、消費者センター職員2名

《次第》

1. 開会
2. 文化市民局市民生活部生活安全課長挨拶
3. 事務局紹介
4. 議題(1)(2)
5. 閉会

議事録(要旨)

【事務局】

議題1、高齢者に多い消費者トラブルについて説明

【大道委員】

不審なメールに関して、所属協会の会長名でメールが届いたが、フリーアドレスだったことがあった。自分の団体の会長名や関係先の名称で届くと、高齢者に限らず開いてしまいそうになるため、注意が必要であると所属内で再周知している。

【石本委員】

介護の現場、特に在宅の場合、高齢者がトラブルに巻き込まれていないか一番気づけるのは、ホームヘルパーやケアマネージャーだと思うため、今後ホームヘルパー協議会がメンバーに入るのはどうか。

【西森委員長】

貴重なご意見として頂戴する。

【黒木委員】

令和6年度相談件数が前年度に比べ866件増えているが、要因は把握しているか。

【事務局】

コロナ禍で減っていた訪問販売等が増え始めていることも一因ではないかと考えている。また、熊本県消費生活センターの相談件数が減っているため、その分が熊本市消費者センターに寄せられているのではないかと推測される。

【黒木委員】

令和7年度については、8月の豪雨災害に関連した点検商法等を注視、把握し、今後災害があった際に、いち早く情報提供を行う等の対応をお願いしたい。

【西森委員長】

議題2、その他について説明をお願いします。

【事務局】

議題 2、その他について説明

【田辺委員】

出前講座受講者のうち、高齢者 49 件の内訳を伺いたい。

【事務局】

自治会や老人会、地域の団体からの申込である。ささえりあからの申込もあっている。

【金澤委員】

各包括支援センターでは自治会との運営協議会等の集まりで出前講座について話題の提供、共有を行っている。

【西森委員長】

それでは、1部はこれで終わります。

【事務局】

会長をはじめ委員の皆様におかれましては、貴重なご質問等いただきましてありがとうございました。

いただきましたご意見は、今後の本市の消費者行政施策や取組に活かしてまいりたいと存じます。今後ともよろしくご意見申し上げます。

以上